

## 委員所感・質問・意見

※五十音順 敬称略

	委員名	相手先	所感・質問・意見	概要
1	相澤 新一郎	(提出なし)		
2	小田 修市	経済産業省 (国)	質問	<p>原賠法では、政府が必要と認めるときは国会の議決の範囲内で必要な援助を行うことができる」と規定され(原賠法第 16 条)、さらに、「異常に巨大な天災地変」や「社会的動乱」によって生じた 原子力損害の場合には、原子力事業者は免責され、政府が被災者の救助及び被害の拡大の 防止のため必要な措置を講ずるようにするものと規定されている(原賠法第3条第 1項ただし書、第 17 条)。原賠法第3条第1項ただし書に該当する場合には、原賠法の規定 による損害賠償責任を負う者は存在しないと解されている</p> <p>東北地方太平洋沖地震に於いて、この規定が適用されなかった事について (○科学技術庁長官「第三条におきます天災地変、動乱という場合には、国は損害賠償をしない、補償してやらないのです。つまり、この意味は、関東大震災の三倍以上の大震災、あるいは戦争、内乱というような場合は、原子力の損害であるとかその他の損害を問わず、国民全般にそういう災害が出てくるものでありますから、これはこの法律による援助その 他でなくて、別の観点から国全体としての措置を考えなければならぬと思います。…(略) …従って、そういう異常巨大な社会的動乱あるいは天災地変というような場合には、これ は別個のもので取り扱われるので、その限りにおいては、政府に法律上責任はない、そう いうことになるのであります」)</p> <p>(○文部科学省大臣官房審議官「異常に巨大な天災地変かどうかの判断は、常に最新の知識に基づいてもなお到底予想し得ないような天災地変であったか否かが基準となると考えてございます。…(略)…今回の東北地方太平洋沖地震は、マグニチュード</p>

	委員名	相手先	所感・質問・意見	概要
			所感・意見	<p>でいいますと 九・〇ということで、確かに巨大な地震ではございましたけれども、例えば、二十世紀に 入って以降でも、チリ地震マグニチュード九・五ですとか、アラスカ地震九・二という立法と調査 2015. 2 No. 361 78 とで、今回の地震を超えるような地震を経験しておりますので、今回のただし書きには当たらないという判断であったと聞いております」</p> <p><u>※この答弁の内容は細かく発言しません</u></p> <p>との答弁があります。仮に原子力災害が起こった場合、地震に起因するものだとすると原子力災害の内容に関わらず、地震の規模で適用するかしないかが問われることに関して見直しをされているようですが…。このままだとしたら、ナンセンスです。</p> <p>質問 1: 東北地方太平洋沖地震から10年以上が経ちますがどのような見直しがされていますか？</p> <p>質問 2: 日本全国の立地点の首長さん方は、承知でしょうか？</p> <p>質問 3: 今の規定で地域住民に安心を与えられるとお考えでしょうか？</p> <p>所感・意見について</p> <p>原発の運転期間を原則40年、最長60年と定めた原子炉等規制法の規定を削除する見通しであると聞きました。電気の安定供給を考えれば当然かと思いますが、そもそも新設の議論にならないのでそうせざるを得ないのが現状かと思います。新設やリプレースが無ければ、蓄電池のイノベーションが起こらなければ電力の不安は解消されません。将来の電気の安定供給に関して諸問題を先延ばしにしすぎていると思います。所感は原賠法と電気の安定供給について地域経済の事に触れながら、もっと国が前面に出るように話すつもりです。</p>
3	小名 道幸	(提出なし)		
4	小野 敏夫	内閣府 資源エネルギー庁	所感・意見	1 メガソーラや風力発電だけでは十分な電力は得られない。自国の安定したエネルギー確保のため、早期再稼働を望む。(所感・意見:内閣府、資源エネルギー庁)

	委員名	相手先	所感・質問・意見	概要
		内閣府、新潟県、柏崎市、刈羽村	所感・意見	2 柏崎刈羽原子力発電所は新潟県・柏崎市・刈羽村にとって大切な雇用の場でもある。人口減を回避し、豊かな地域作りのためにも再稼働は必要。廃炉では希望は持てない。(所感・意見:内閣府、新潟県、柏崎市、刈羽村)
		東京電力 HD、原子力規制庁	所感	3 発電所の改革の進捗状況やその内容に外部(原子力改革監視委員会)から評価されてきた。ニュースアトム(2022年9月4日発行)によれば、発電所内の雰囲気はかなり改善され、萎縮や沈黙から明るさや笑顔が見られ、褒めたり、指摘し合える環境になってきたと述べられている。(所感:東京電力 HD(株)、原子力規制庁)
		東京電力 HD、柏崎市	所感・意見	4 柏崎刈羽発電所の社員と協力企業の地域活動に深く感謝している。 海岸清掃・海岸道路の砂出し、荒浜いわし祭りの参加、荒浜諏訪神社の春・秋祭りの参拝、青山稻荷神社の春・秋祭りの参拝など、地域の一員として地域作りに参加いただき感謝。人口減で担い手が少ない中、有り難い。(所感・意見:東京電力 HD(株)、柏崎市)
		東京電力 HD・原子力規制庁・行政	所感・意見	5 地域の会の真摯な姿勢に安全・安心・信頼感を覚える 会は東電・規制庁・行政(県・市・村)等と互いにオープンな対応で透明性を確保し、真摯な姿勢に安全・安心・信頼感を覚える。 (所感・意見:東京電力 HD(株)・原子力規制庁・行政)
5	川口 泰史	資源エネルギー庁	所感	①今後のエネルギー政策について ■ 「2050年カーボンニュートラル」の目標達成に向けて、政府のGX実行会議が開催され、そのなかで電力の需給がひっ迫する状況やエネルギー安全保障に対応するため、既存の原発を最大限活用する方針が示されました。 ■ また、中長期的には原発のリプレース、発電所の運転期間延長や次世代炉の開発・建設を検討するという方針も示され、国としてエネルギー政策に対して真剣な姿がうかがえます。 ■ 昨今の物価高や電気料金の高騰などは、一般家庭の負担増はもちろんのこと、会

	委員名	相手先	所感・質問・意見	概要
		東京電力 HD	所感	<p>社経営にとっても、大きな悪影響を与えており、我々中小企業にとっては死活問題と言えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ そのため、我々地元の人間の思いをくみ取っていただき、今回の方針にしたがい、国が前面に立ってエネルギー政策を着実に前に進めていただければと思います。</li> </ul> <p>②柏崎刈羽原子力発電所の早期再稼働について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 9月30日に公表された「原子力改革の進捗状況」と題して、核物質防護への改善措置の進捗、柏崎刈羽原子力発電所が目指す姿などが示されておりましたが、一步一步着実に進んでいることがうかがえました。</li> <li>■ とりわけ、外部人材の積極的な活用や、本社機能の移転として将来的に300人規模の社員が柏崎に順次異動してくる等、東京電力の真剣さを感じました。</li> <li>■ 今後、国が真剣に取り組んでいく中で、東京電力として、核物質防護の問題への対応や安全性をさらに向上していただくとともに、原子力改革を着実に進め、早期に再稼働していただくことを地元の人間のひとりとして望んでいます。</li> </ul>
6	坂本 啓	東京電力 HD	所感・意見	<p>(東京電力に対する所感意見)</p> <p>・昨年9月に改善措置計画に関する報告書を提出してから、1年余りが経過しました。安全対策工事未完了に関する総点検、また、核物質防護に関して順次改善が行われてきたと思います。一方で、この間にもIDカードの有効期限切れなどの事案が起きているため、顕在化した課題に対処していく必要があるかと感じます。</p> <p>東京電力は、国によるエネルギー政策の動きがある中、昨今の燃料高騰や脱炭素エネルギー問題に叶うべく、安全性を第一として着実に改善の取り組みを進めていただきたい。</p>
		資源エネルギー庁、新潟県、柏崎市、刈羽村	所感・意見	<p>(エネ庁、新潟県、柏崎市、刈羽村に対する所感・意見)</p> <p>・昨年の情報共有会議でも述べましたが、原子力の考え方にはそれぞれ賛否がある</p>

	委員名	相手先	所感・質問・意見	概要
		新潟県、柏崎市、刈羽村	質問	<p>かと思えます。</p> <p>事業者のみならず、立地地域の住民として我々も自発的に学ぶことも必要かと思えますが、エネルギー政策や災害時の避難計画など、住民目線で分かりやすい情報発信をしていただきたいと思います。</p> <p>(新潟県、柏崎市、刈羽村に対する質問)</p> <p>避難計画について、昨年の地域の会にて避難計画のアンケートのような資料を拝見したところ、ほんの一部ではありましたが、ペットの扱いについて記載がありました。会の中でも質問をさせていただきましたが、「人命が最優先」とのことで、それは重々承知なうえですが、何か対策のようなことは考えられているのか、お聞かせいただきたいと思います。</p>
7	三宮 徳保	原子力規制庁	質問	<p>私はここ数年、情報共有会議の場で同じ内容を発言してきました。「我が国におけるエネルギー供給の実態と安定供給、地球温暖化対策を考えたときに、今の日本に原子力発電所は必要か?」。現状、再生可能エネルギーの導入拡大は、送電網の整備、蓄電池設備の問題から課題が山積みであり、安定供給には程遠いのが実情。</p> <p>今回、電力供給の逼迫回避やロシアのウクライナ侵攻による資源価格の混乱等の影響もあり、政府は脱炭素社会への産業転換を検討するGX 実行会議において「脱炭素社会の実現と電力の安定供給を両立するには原発の活用が重要」と、ようやく具体的な方針が示されました。</p> <p>私たちが生活するこの柏崎刈羽地域には、既存する 7 基の原子力発電所があります。今、立地地域住民である私たちは何をすべきなのか、「地域の会」ではどのような議論が必要なのか。</p> <p>以上を踏まえ、各オブザーバーに質問と意見です。</p> <p>◎原子力規制庁へ:KK6, 7 号機の具体的審査工程の見通しは立ちましたか? 責任</p>

	委員名	相手先	所感・質問・意見	概要
		資源エネルギー庁 新潟県 東京電力 HD	質問 質問 要望・意見	<p>とは何だと考えますか？</p> <p>◎経済産業省(エネ庁): 地元の理解活動などで「国が前面に立つ」とありますが、具体策・スケジュールはありますか？(いつ、どこへ、何をするのか)</p> <p>◎新潟県: 地元立地地域である柏崎市刈羽村では、言葉は違いますがKKK原子力発電所の再稼働について前向きな意思表示をされていると私は理解しています。知事としては具体的議論、判断への工程は、いつになれば示されるのでしょうか？</p> <p>◎東京電力 HD に対しては質問ではなく、要望・意見の為、情報共有会議当日に述べさせていただきます。</p>
8	品田 善司	東京電力 HD	所感・意見	<p>『目標をしっかり定めてほしい』</p> <p>原子力規制委員会が是正措置命令を出して以降、東京電力は『自律的な改善』に取り組んでいる。</p> <p>安全に対するハード面の整備とソフト面の改善に向けて改革を断行中であり、それらの成果は徐々に表れて来ていると感じる。</p> <p>岸田首相は原発の新增設などについて検討の加速を指示し、来夏以降の再稼働を目指す方針を示した。</p> <p>① 是正措置命令の解除、再稼働に向け、いつ迄という『時期的な目標』をしっかり定めていただきたい。目標無くして成果は現れません。</p> <p>② ハード面の整備とソフト面の改善と共に、『地元の理解』無くして再稼働はあり得ないと思います。</p> <p>地元地域の人たちが安全性が高まったことをしっかり理解できるよう、信頼の回復に努力していただきたい。</p>
9	須田 年美	資源エネルギー庁	質問	<p>高レベル廃棄物の最終処分場の進捗状況について</p> <p>先般、青森県むつ市の中間貯蔵施設を視察させていただきましたが、むつ市での保</p>

	委員名	相手先	所感・質問・意見	概要
				<p>管期間は最初運び込まれてから50年とお伺いいたしましたが、最終処分場の計画・工事着工もされていない中でどんな見込みがあるのか？お分かりの事柄を聞かせて戴きたいと思います。</p> <p>併せて、日本を取り巻く現状は、いつ何が起きても不思議でない程の緊迫状況が続いておりますが、現在は風力発電機や太陽光発電も格段と多くなって来ておりますが、これらは発電量が不安定といった欠点であり、現在主流となっている火力発電に不可欠な液化天然ガスの供給は大丈夫なのでしょうか？</p>
10	高木 則昭	東京電力 HD  新潟県	質問  意見	<p>1, 柏崎刈羽原子力発電所の設備管理について(質問)</p> <p>1) 柏崎刈羽原子力発電所の設備工事における管理体制について 7号機フィルタベントのフランジについて、当初設計と異なる仕様部品が取り付けられている事案があったが、要因は何か。また、対策はどのように行われたか。</p> <p>2) 保全の内製化に取り組んでいるが、計画・実績など進捗状況はどうなっているか。 また、協力事業所との連携、協力関係はどの程度構築されたか。</p> <p>2, 自然災害と原子力災害の複合災害時の避難について(意見)</p> <p>通常の運転状態で単独での原子力災害は発生リスクは低いと考える。大地震発生に起因する原子力災害の発生が心配される。この時、住民の避難をどのようにするかを検証し避難計画を立てることが重要と考える。</p>
11	高橋 新一	新潟県	質問	<p>●避難計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県の避難委員会が456点の論点、問題点等を指摘し委員会の幕を閉じた 避難委員会では、5年間にわたって議論してきたが課題や論点を指摘してきただけで実効性が見通しの立つようなものが全く示されなかった</li> <li>・そもそも原発の避難計画は、規制委員会(または国の専門的役割を負った組織)が、</li> </ul>

	委員名	相手先	所感・質問・意見	概要
				<p>責任をもって策定すべきものであるが、実現不可能を予測して立地自治体に丸投げして責任を逃れてきた</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟県は、456点もの課題が何ら解決されないまま、規制基準がクリアになった時点で再稼働に同意するのか</li> <li>・県民のいのちと暮らしが無防備なままで原発が存在し続けることに大きな不安を抱かざるを得ない(テロ対策以上に重要な問題であると考え)</li> <li>・専門性のある中立的な専門家に、県民、市民を加えた新たな検証委員会を立ち上げてもう一度「実効性ある避難計画」について検証をやり直すよう切望する</li> <li>・再稼働に前のめりになることなく、実効性のある「避難計画策定の現実性の可否」についても議論して欲しい</li> </ul>
12	竹内 英子			<p>岸田総理は柏崎刈羽原子力発電所を含む 7 基ある設置許可済みの原発再稼働に向け、国が前面に立つとしたが、柏崎刈羽原子力発電所は稼働できるような状況にはない。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 東京電力には、核を扱う企業としての資質があるとはいえない</li> <li>2. 柏崎刈羽原発は、①②の理由から安全に管理できる施設ではない             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 海岸線の長さその後付け工事の複雑さ                 <p>7基も原発がある敷地は広大で海岸線が長い。さらに、中越沖地震からの復旧工事の上に福島原発事故後の安全対策が施されていることで、原発敷地内の全容を把握しきれなくなっている。</p> </li> <li>② BWR の事故時に発生したガスによる建屋爆発のリスク                 <p>福島原発事故で生じた水素爆発を検証した第 31 回原子力規制委員会では、水素以外にも格納容器内の潤滑油や被覆材、塗料等から発生したガスが爆発した可能性が議論されている。柏崎刈羽原発の原子炉は、福島第一原発と同じ BWR である。</p> </li> </ol> </li> </ol>

	委員名	相手先	所感・質問・意見	概要
		原子力規制庁  内閣府	質問  質問	<p>&lt;原子力規制庁への質問&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●今後どのように BWR の建屋爆発への対策の検討を進めていく予定なのか</li> <li>●BWR の爆発対策については、どのような条件が整ったら「再稼働可能」と判断するのか</li> </ul> <p>&lt;内閣府への質問&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●BWR の爆発対策においては、建屋内が一定の濃度以上になったら住民の避難状況がどうであれ、速やかにベントしなければならない。放射性物質放出後に PAZ と UPZ が同時避難するケースも検討しておく必要があるのではないか。</li> </ul> <p>3. 原子炉の運転期間延長は柏崎刈羽原子力発電所では難しい</p> <p>原子力規制委員会の更田委員長は、運転期間の延長は一律ではなく個別の原発の状況によるとしている。中越沖地震で被災している柏崎刈羽原発は、経年劣化だけではない根本的なダメージを受けており、運転期間を延ばせるような状態ではない。</p> <p>4. 世界で一番大きい柏崎刈羽原発は、テロや戦時の標的になったり、要塞として使われたりする危険性があり、稼働していればその際のリスクは計り知れない。</p>
13	本間 保	柏崎市	質問	<p>原子力防災避難計画について 柏崎市長に質問</p> <p>1 PAZ住民はEAL3において、放射性物質放出前に 避難を開始する事が基本になっていた。</p> <p>昨年、大雪の場合には、PAZ 住民もまずは自宅待機する事に変更された。また、地震の場合、津波の場合、土砂災害の場合などでも、それらの避難計画を 原子力避難計画に優先させるとされている。</p> <p>原子力災害避難計画の基本方針として、EAL3 でPAZ住民は放射性物質放出前に避難を開始するとされていたが、複合災害においては、PAZ 住民はEAL3 になって</p>

	委員名	相手先	所感・質問・意見	概要
				<p>も、ただちに避難開始ができなくなるということであり、場合によっては被ばくすることもありうることになる。</p> <p>これは、避難計画の根本の変更ということになるのではないのか？</p> <p>であれば、複合災害においては、避難計画の全体像の見直しが必要なのではないのか？</p> <p>また、これまで放射能放出前に避難すると説明されてきたPAZ住民に、そうでない場合もあることをどのように説明するのか？ また、その説明で、住民の理解は得られると考えているのか？</p> <p>2 国は、避難の戦略を立てるための住民の被曝量の基準を 100mSv であると答えているが、柏崎市はこの避難計画で避難した場合、市民の被曝量が最悪どれくらいになるのか明確にしていない。柏崎市長として、最悪の場合、市民の被曝量は、どの程度になると考えているのか？ 市長あるいは市としての考えを明確に示していただきたい。</p> <p>3 避難先について、現在の避難計画では、「避難経由所」は示されているが、最終的な、「避難所」は示されていない。市は、市民に無用な心配を与えないために「避難所」を公開しないと述べているが、市民としては公開されないことのほうが不安が大きい。特に、多くの避難者を収容するだけの避難所が用意されているか明確にされていないことは大きな不安点である。</p> <p>そこで質問だが、例えば、柏崎市から上越、妙高、糸魚川方向に避難を想定している人数は何名で、その人々を受け入れる市町村の最終的な避難所は何か所で、何名くらいを収容できることになっているのか？ 示していただきたい。</p>

	委員名	相手先	所感・質問・意見	概要
		新潟県	質問	<p>また、その場合、避難者一人当たりの面積はどれくらいが想定されているのか？ 示していただきたい。</p> <p>そして、もう一点、原子力発電所の事故で避難した場合、私たち避難者は、何日間くらいその避難所で生活することを想定しているのか ご回答をいただきたい。</p> <p>新潟県知事に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県が依頼した阻害要因調査の結果について</li> </ul> <p>県は、負荷をかけたシミュレーションなので、実際より長い時間が想定されたと述べているが必ずしもそうとも思えず、可能か否かという問題はあっても、この結果を受け入れた対策を講ずるべきなのではないか</p>
14	三井田 潤	東京電力 HD	質問・意見	<p>報告説明に関してのお願いと再稼働に対する覚悟に関して</p> <p><b>【報告説明に関するお願い】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>7号機タービン建屋の電動シャッター不具合の説明にある給電部の焼損の場合ですが、100V の制御回路のことにふれていません。異常がないから言わないのだろうと思いますが、その部分も報告された方がよろしいと思います。</li> <li>「制御回路はリレー等の焼損がなく外観目視確認では異常ありませんでした。給電部のモーター給電ケーブルの焼損があり、2.0mm<sup>2</sup>のより線を、圧着スリーブ小で圧着をやり直し絶縁テープ4層巻き以上に施工しました。刻印は極小です。」という具合に説明してもらえたら、委員の方々はじめ地元住民にも安全安心を伝えられます。</li> <li>高圧ガス関係に関し特定消費施設だから高圧ガス製造保安責任者は必要ありませんが、特定消費施設には特定高圧ガス取扱主任者を置きますがその説明はありませんでした。</li> </ul>

	委員名	相手先	所感・質問・意見	概要
				<p>・ 保安教育の実施や定期自主検査記録の保管についても、きちんと行っている旨、説明したほうが良いと思います。</p> <p><b>【再稼働に対する覚悟について】</b></p> <p>再稼働して福島第一のような事故が起きた場合、東京電力の社員や関連会社、協力企業の方は冷温停止のために、本当に働いてくれるのかを心配しています。労働基準法や労働安全衛生法の観点から関連会社、協力企業は業務を拒否できます。無論東京電力社員も危険業務だから拒否もできることは分かっています。でも、せめて東京電力の社員は絶対逃げずに最善を尽くす覚悟で働いて頂きたい。電気事業者の貴社が頼りなのですから、いい加減な気持ちで再稼働してもらいたくありません。</p>
15	三井田 達毅	資源エネルギー庁 内閣府	質問・意見	<p>○先般のGX会議にて岸田首相が「設置許可済の原発再稼働に向けて、国が前面に立ってあらゆる対応をとっていくと発言されました。①原子力発電の必要性をきちんと言及された事。②エネルギー問題における原子力発電の位置付けにおいて、新設・リプレースに初めて言及された事。それぞれ首相自らがきちんと明示された事は、大変評価すべき点だと思いますが、以下の点をお聞きしたいと思います。</p> <p>① 国が前面に立って対応とは、具体的にどういったことでしょうか？ (理解活動？教育普及？規制取組・監視における国の一層の支援や関与？安全対策や避難支援等への予算措置？等々、ハード面ソフト面共に予定されている事柄などお聞かせください)</p> <p>② 原子力発電にはバックエンドの問題もあります。この問題に関してはどう関わっていくのでしょうか？ (現在のNUMO中心のままでは決して国が前面に立っているとは言えないと思っています。)</p> <p>③ 万が一の事故の際の責任についてはどの様な方針でしょうか？</p>

	委員名	相手先	所感・質問・意見	概要
				<p>(現状の原賠法による、実質事業者責任だけというやり方で国の責任は見えない＝前面に立っているとは言い難いと思うのですが)</p> <p>○最後に、現在も国のエネルギー政策に理解・協力している当地を含む立地地域や、最終処分問題で検討地域として手を挙げておられる北海道の2町村の現状に対して国の評価やそれを全国の問題として他地域に認識してもらうための広報展開を真剣に考えて頂きたいと思います。この点についても考えをお聞かせいただきたいと思います。</p>
16	宮崎 孝司	資源エネルギー庁(経済産業省)	質問・意見	<p>核燃料サイクル政策の見直しを求める</p> <p>★原子力発電に当たっては、「安全性を全てに優先させる」と枕詞になっているが、</p> <p>①日本は世界有数の地震国であること、</p> <p>②避難計画が深層防護5層から外されていること。</p> <p>プロパガンダに過ぎないのではないか。</p> <p>★日本が現在約47tものプルトニウムを持っている。プルトニウム削減が国際的約束のはず。</p> <p>六ヶ所村再処理工場で、8t/年のプルトニウムを取りだし、MOX 燃料として 6t/年消費するという。これでは、プルトニウムは増えるだけ。核燃料サイクルは破綻している。に見直すべきだ。</p>